



神奈川県立平塚盲学校グランドデザイン

KANAGAWA

～平塚盲学校は 令和2年に開校110年～



目指す社会(ビジョン)

すべての人々が、自分の願いの実現に向けて支援し合い自分の意思が反映した生活を送り(自立し)、家族や地域社会の中でその人なりの役割や居場所を持って豊かに生きていける(社会参加)ようになるための教育活動を実現する。

社会の中で「生きる力」を身につけられるよう、人的資源・物的資源を最大限に活用し、幼児児童生徒本人、家族、関係者に対し教育の立場から行うべき支援(教育的支援)を提供していく。

本校の役割(ミッション)

県立唯一の視覚障害教育部門の特別支援学校として、幼児・児童・生徒の自立と社会参加に向け、乳幼児期からの早期の相談・支援をはじめ、幼稚部・小学部・中学部・高等部まで一貫した教育を行う。また、専門教育を主とする高等部理療科および保健理療科では、特色ある職業教育の充実に取り組む。幼児・児童・生徒が減少する中で、教科指導体制の工夫を行い、その体制の充実を図る。また、その専門性を生かし、全県にわたる弱視教育、視覚障害教育のネットワークの中心としての機能を充実させ、それぞれの地域での自立と社会参加のための支援に取り組む。

■目指す学校像■

- 互いの自己実現に向けて尊重しあい、助け合い、支えあい自らの意思が反映される学校
- 地域と協働し、生きる力を共に育む学校

■目指す幼児児童生徒像■

- 様々なことに興味・関心を持ち、深め、自ら 学びに向かう人
- 自ら考え、伝え、行動する人
- 社会とつながり自らの力を発揮する人

実感しながら社会の一員に

認められること

期待されること

必要とされること

役立っていること

教育的支援

日常の基本的な生活力

基礎的な学力
発展的な学力

理療施術者として
必要な知識と技能

安全・安心な学校

視覚障害に対応した施設設備の整備

通学が困難な児童生徒の学習を保障する寄宿舎の運営

災害のシミュレーションによるマニュアルの整備や避難訓練

効率の良い学校運営組織づくりと風通しの良い職場の雰囲気づくり

センター的な役割

視覚障害にかかわる教育相談・入学相談

幼稚園、小・中・高等学校等に対する支援

点字図書 の提供
視覚補助具・教材の紹介

在籍の幼児児童生徒及び保護者のニーズに応える教育相談

地域との連携、盲学校に対する理解推進

自立活動の指導

環境を把握する力を高める指導

聞くこと

触ること

保有視力の活用

様々な感覚機能の活用

文字を読み書きする力を高める指導

点字

視覚補助具の使用法

情報機器の使用法

移動する力を高める指導

伝い歩き

白杖歩行

地図的操作

生き方を考える早期からのキャリア教育

整備された個別教育計画

コミュニティスクール